

文化・スポーツ

文化を楽しみ創造するまちづくり

文化や芸術活動に参加することは、私たちの日常に楽しさや生きがい、喜びをもたらす。時に生きる力を与えてくれます。市では、平成28年4月に文化振興条例を施行、平成29年6月には文化振興基本計画を策定し、文化振興施策を総合的に推進しています。計画に掲げる基本理念「すべての市民が文化を楽しみ、創造できるまち 舞鶴」 「まちを誇りに思い、愛着が感じられる文化都市 舞鶴」の実現を目指し、市民や地域、団体等との協働により、全ての市民が文化芸術に出会う機会の創出、市民文化創造活動の活性化に取り組んでいます。



▲舞鶴市展



▲アート・プログラム・デリバリー事業



▲文化の見本市



▲アートスタート事業



▲公共ホール音楽活性化支援事業

田中彩子さん「舞鶴市文化親善大使」に就任

令和3年、文化のさらなる発展と創造力を育み、都市としてのブランド力の向上につながることを目的に「舞鶴市文化親善大使」を本市出身で世界的に活躍されているソプラノ歌手田中彩子さんに委嘱しました。文化親善大使の活動を通じ、子ども達に夢や希望をもって生きることの素晴らしさを伝えるほか、市民が文化に触れる機会を増やし、文化力の育成を図ります。



総合文化会館大ホールがリニューアル

総合文化会館は、昭和58年10月に竣工し、築30年が経過したことから、長寿命化と機能向上を図るため大ホールの大規模改修を実施。天井の耐震化対策を行うとともに、舞台設備の改修など音響改善を図ったほか、1階全座席を更新し、よりゆったりと鑑賞できるように整備し、トイレの洋式化や客席と舞台をつなぐ花道の新設など施設全体

のバリアフリー化を実施して、平成27年6月にリニューアルオープンしました。また、市民会館は昭和43年の開館以来、文化や芸術の拠点として利用されてきましたが、築後46年が経過したことで老朽化が進み、施設の継続した運営が難しいことから平成28年2月末に閉館しました。



▲リニューアル後の大ホール



▲閉館した市民会館

